

科目名		産業医学実装科学演習	
科目責任者	川波 祥子	(産業医実務研修センター 教授)	
担当者	喜多村 絃子	(産業医実務研修センター 准教授)	
開講時期:	2年次	単位数:	4 単位
		時間数:	90分× 30 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>抄読会参加や事例検討、討議、研究発表等の演習を通じて、産業医学領域での予防介入や改善活動を計画し行う実践力、研究者としてのプレゼンテーション力、ディスカッション能力を養う。また特論で学んだ産業医学実装科学のプロセスを理解し、上記の介入に取り入れる応用力を身につける。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 職域における健康上、労働衛生上の課題と現状について論じることができる。</li> <li>2) 職域における健康上、労働衛生上の課題を分析し、課題解決の方策を提案できる。</li> <li>3) 産業医学領域における論文を理解し、批判的吟味ができる。</li> <li>4) 職域での予防介入、改善活動を計画する際の留意点を論じることができる。</li> <li>5) 職域での予防介入、改善活動における関係者との連携について論じることができる。</li> <li>6) 産業医学領域での実装科学研究について論じることができる。</li> <li>7) 実装科学研究のフレームワークに沿って予防介入、改善活動の事前評価ができる。</li> <li>8) 実装科学研究のプロセスに沿って戦略的に予防介入、改善活動を計画できる。</li> <li>9) 教育設計学の基本を理解し、健康教育、衛生教育を計画できる。</li> <li>10) 具体的な予防介入、改善活動実施における倫理的課題を論じることができる。</li> </ol>			
● 評価方法	演習参加状況50%、発表・レポート50%等で総合評価する		
● 参考文献	演習の中で必要に応じ紹介する		

● 授業内容

回	内容	担当教員
1・4・7・10・13・ 16・19・22・25・28	事例検討会、カンファレンスに参加し、産業医学領域で課題となっている問題を幅広く理解するとともに、討議を通して職域で活動を実践する際に持つべき視点や留意点を学ぶ。	川波 喜多村
2・5・8・11・14・ 17・20・23・26・29	センター抄読会に参加し、産業医学、実装科学に関する最新の論文を読んで紹介するとともに、問題点について多角的に議論する。	川波 喜多村
3・6・9・12・15・ 18・21・24・27・30	産業生態科学研究所内カンファレンス(オリオンゼミ)に参加し、大学院生自ら発表と議論を行うことにより、プレゼンテーション能力の研鑽を図るとともに、議論力論理構成力の向上を図る。	川波 喜多村